



いふくべ あきら
伊福部 昭

どさんこジュニアオーケストラ

第6回 北海道少年少女 オーケストラフェスティバル

in 音更

～音更町開町120年、伊福部昭 没後15年～

出 演：どさんこジュニアオーケストラ、北海道音更高等学校管弦楽局（賛助出演）
特別出演：篠崎和子（ハープ奏者）
指 揮：菅野宏一郎（東京室内管弦楽団指揮者、ルーマニア在住）
野村 聡（千歳ジュニアオーケストラ代表、北海道ベートーヴェン協会会長）
助乗慎一（一般社団法人どさんこ青少年オーケストラ協会代表理事）

曲 目 伊福部 昭／音更町歌（1950/1970）
管絃楽のための「日本組曲」より 俊武多（1934/1991）
SF 交響ファンタジー 第1番（1983）
シンフォニア・タプカーラ（1954/1979）

A・ドヴォルザーク／スラブ舞曲第8番、ユーモレスク
となりのトトロ、紅蓮華、パイレーツ・オブ・カリビアン、十勝バラードメドレー ほか

2021.2.7 日 （開場 13:30） | 音更町文化センター大ホール
開演 14:00 （河東郡音更町木野西通 15 丁目 8）

入場料 一般（前売）1,000円（当日1,200円）
小中高校生 無料（要整理券）、未就学児も入場可能

チケット取扱所 ●音更町文化センター ●勝毎サロン（藤丸7階）
●チケットライブ（帯広市民文化センター内） ●芽室町中央公民館
●幕別町百年記念ホール
●チケットぴあ【Pコード：189919】 全国セブンイレブン、ファミリーマート
※発券手数料がかかります。110円/枚

■主催：音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラ ■共催：音更町、音更町教育委員会、一般社団法人どさんこ青少年オーケストラ協会
■後援：北海道、北海道教育委員会、音更町伊福部昭音楽顕彰会、くしろ伊福部昭の会、NPO法人音更町文化事業協会、十勝毎日新聞社、NPO法人日本少女オーケストラ協会
■楽譜協力：東京音楽大学付属図書館ニッポニカ・アーカイヴ・コレクション ■助成：北海道庁（十勝総合振興局）「地域づくり総合交付金」
■お問い合わせ：事務局 芹澤（せりさわ） 携帯 090-1642-7085 メール godzilla2017@gmail.com



●指揮／菅野宏一郎

東京都出身。5歳よりピアノを始める。桐朋学園大学にて指揮を岡部守弘、大友直人、大野和士、トロンボーンを三輪純生、ピアノを諸岡まり、通奏低音とチェンバロを鍋島元子の各氏に師事した。卒業後渡欧し、ルーマニアのブラショフフィルハーモニーに於いてトロンボーン奏者を勤める傍ら、同地の歌劇場に於いてもコレペティールを勤めた。1997年より同歌劇場の指揮者(2001年まで)。また、同地のブラショフ芸術高校及びトランシルヴァニア大学音楽学部のオペラ科など、後進の指導にも力を入れている。2003年よりウィーン国立芸術大学指揮科にポストグラドゥアラーとして入学。レオポルト・ハーガー、エルヴィン・アッツェル、マーク・シュリンガー及び湯浅勇次郎の各氏に師事した。その他ウィナー・マイスターグループにてクリウス・カルマー、ハンガリー・ラバフェスティヴァルにて曾我大介の各氏にも師事した。これまでに、アラドフィルハーモニー、オラデアフィルハーモニー、クライオーヴァフィルハーモニー、シビウフィルハーモニー、ディヌ・リパッティフィルハーモニー(サトゥ・マーレ)、ブラショフフィルハーモニー、ボトシャニフィルハーモニー、ジョルジュ・エネスク室内管弦楽団(ブカレスト)、クルージュ・ナポカ歌劇場など、ルーマニア国内のオーケストラ、歌劇場をはじめニュールンベルガーシンフォニカー、ハイデンハイムフィルハーモニー(ドイツ)、オーケストラ・デュ・キャピトル・トゥールーズ、オーケストラ・デュ・ブザンソン(フランス)、アンサンブル・ザンドナイ(イタリア)などを指揮している。また、東京室内管弦楽団の指揮者として活躍中。2016年4月より一般社団法人日本ルーマニア親善協会の代表理事として両国の交流の橋渡し役も務めている。



●指揮／野村 聡

北海道出身。5歳よりヴァイオリンを始める。北海道大学工学部卒業。在学中は北大交響楽団のコンサートマスターを務め、卒業後は札幌交響楽団に賛助出演するなど、室内楽からオーケストラまで年間80ステージを越える演奏活動を行う。これまで道内のオーケストラとの共演のほか、現在は千歳フィルハーモニーオーケストラ、オーケストラ HARUKA など北海道内5つのオーケストラのコンサートマスター。ヴァイオリンの魅力を紹介するパフォーマンスではNHKをはじめとして、STV、日本テレビ(ズームイン朝、ズームインスーパー)などに出演。ラジオではHBCラジオ、FMアップルに出演。千歳音楽協会会長、(株)エルム楽器弦楽器アドバイザー、支笏湖丸駒温泉旅館PR大使。ヴァイオリンを磯英男、井上 需、各氏に師事。

魅力を紹介するパフォーマンスではNHKをはじめとして、STV、日本テレビ(ズームイン朝、ズームインスーパー)などに出演。ラジオではHBCラジオ、FMアップルに出演。千歳音楽協会会長、(株)エルム楽器弦楽器アドバイザー、支笏湖丸駒温泉旅館PR大使。ヴァイオリンを磯英男、井上 需、各氏に師事。

●指揮／助乗慎一



旭川市出身。北海道教育大学旭川校芸術文化課程音楽コース卒業。同大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。これまでに、ホルンを島方晴康、小沢千尋、伊藤恒男の各氏に師事。また室内楽を森田寛、千葉圭説の両氏に師事。北見新人演奏会にてモーツァルトのホルン協奏曲第2番を演奏。道内各地で音楽科、特別支援教育の教員として6年間勤務の後、NPOなどでまちづくりに従事した。道内のジュニア

オーケストラの設立、指導運営の傍ら、ヨーロッパ(ウィーン、チェコ、ルーマニア)やアジア(カンボジア、ラオス、タイ、フィリピン)へ指導や各国の子ども達や指導者たちと交流を続けている。現在、一般社団法人どさんこ青少年オーケストラ協会代表理事、NPO法人日本少年少女オーケストラ協会北海道・東北支部長、NPO法人えべつ楽友協会理事、北海道農民管弦楽団事務局長、学校法人旭川大学 旭川大学高等学校講師。

●どさんこジュニアオーケストラ



道内 14 団体あるジュニアオーケストラの交流と親睦、ネットワークの構築を図るために定期的に合同練習を行い、2015年HTBイチオン祭りで演奏やこれまで江別、名寄、千歳、旭川にて全道フェスティバル、熊本ユースオーケストラとの熊本地震復興祈念ジョイントコンサート、台湾大豊管弦楽団との国際親

善演奏会等に出演してきた。それぞれの地域の音楽文化振興、青少年の健全育成にとどまることなく、まちづくりや地域の活性化の一助になるような活動、道内外や海外への演奏旅行、プロの指揮者や独奏者との共演などを企画している。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、札幌コンサートホール Kitara での演奏会が中止を余儀なくされた。



●ハープ／篠崎和子 [特別出演]

東京生まれ。8歳より、母 篠崎史子の手ほどきでハープを始める。桐朋学園大学、およびニース音楽院を審査員満場一致の金メダルを得て卒業。幼少よりその豊かな才能を開花させ、国内外のコンクールで多くの入賞歴を誇る。文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間パリに留学。2004年に帰国して以来、国内主要オーケストラとの共演をはじめ、各地でのリサイタル、室内楽の演奏会に出演。また、東京・春・音楽祭、小澤征二音楽塾、セイジ・オザワ松本フェスティバルなどにも参加している。レパートリーは古典から近代はもちろん、現代作品まで多岐に渡る。同世代の作曲家の新曲初演にも意欲的に取り組んでいる。2002年4月、ファーストアルバム「塔の中の王妃」(マイスター・ミュージック)で、CDソロデビュー。2010年8月、フルートの工藤重典氏との「モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲 K.299」(マイスター・ミュージック)が発売され、注目される。その他、篠崎史子とのCD「メリー・クリスマス」(SONY)やチェンバロのローラン・テシュネとの「チェンバロ+ハープII」(コジマ)をリリース。2020年1月中国でコンチェルトデビューを果たす。中国深圳交響楽団の駐団芸術家に選ばれる。これまでに、ヨセフ・モルナル、マリ＝クレール・ジャム、ミッシェル・ヴィオーム、イザベル・モレッティ、ジェルメンヌ・ロレンツィーニ各氏に師事。桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園音楽大学非常勤講師、日本ハープ協会理事、一般社団法人環太平洋芸術協会理事。

<主な受賞歴>

- 1992年 第4回日本ハープコンクール・ヤング部門優勝。
- 1993年 第1回リリー・ラスキーヌ国際ハープコンクール・ジュニア部門で第2位。
- 1995年 第7回日本ハープコンクール・プロフェッショナル部門に最年少で入賞。
- 1997年 第9回日本ハープコンクール・プロフェッショナル部門第2位。
- 1998年 UFAM 国際音楽コンクール・ハープ上級部門第1位 (エクサン・プロヴァンスで開催)
- 2001年 第5回USA国際ハープコンクール入賞。
- 2004年 第6回USA国際ハープコンクール入賞。
- 2006年 第18回エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。
- 2009年 第19回出光音楽賞受賞

●北海道音高等学校管弦楽局



当初は吹奏楽部だったが約30年前に当時の顧問や町有志の熱意・後押しにより、全道でも珍しい弦楽器を扱う管弦楽局となる。年に一度の定期演奏会や高文連全国大会への参加など、また地域での様々な場所で演奏を披露している。

<過年度活動実績>(近年のみ)

- 2016年 7月 第40回全国高等学校総合文化祭(広島県呉市) 器楽・管弦楽部門 文化連盟賞
- 2017年 10月 第51回高文連全道高等学校音楽発表大会(室蘭市) 器楽・管弦楽部門 最優秀賞
- 2018年 8月 第42回全国高等学校総合文化祭(長野県長野市) 器楽・管弦楽部門 文化連盟賞
- 2019年 10月 第53回高文連全道高等学校音楽発表大会(帯広市) 器楽・管弦楽部門 最優秀賞
- 2020年 8月 第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文) web出演

第7回 北海道青少年少女オーケストラフェスティバル

とき: 2022年3月上旬 ところ: 未定

曲目: A・マルケス/ダンソン・ヌメロ・ドス(Danzón No.2)
A・ドヴォルザーク/スラブ舞曲第1番 8長調
P・I・チャイコフスキー/バレエ組曲「白鳥の湖」ほか

あなたの街へ音楽を届けに行かせしません!

●新型コロナ対策

当該演奏会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を講じた上で演奏会を開催致します。今後の状況により内容の変更等が生じる場合もございますが、あらかじめご了承下さい。チケットの半券にお名前とご連絡先をご記入の上ご来場下さい。記入していただいた個人情報、新型コロナウイルス感染対策の連絡の場合のみご利用し、保健所等へ提出する場合がございます。一定期間の保管の後に破棄いたします。



マスクを着用しましょう



咳エチケットをお願いします



発熱のある方のご入場はご遠慮願います



ご連絡先の記入をお願いします